

mini DISCLOSURE

ミニディスクロージャー誌

第100期 営業の中間ご報告



©2022 SANFRO CO., LTD. APPROVAL NO. 1827EST

ごあいさつ

平素より武蔵野銀行をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。

株主さまをはじめお取引先の皆さまに、当行に対するご理解を一層深めていただければと、2022年9月期の営業の概況等をわかりやすくお知らせする本冊子を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

一昨年来のコロナ禍が一進一退の様相を呈するなか、米国の金融政策見直しに伴う円安の急速な進展、混迷化するロシア・ウクライナ情勢等により、物価急騰の影響が企業の皆さまの事業活動や県民の皆さまの日常生活に深く及び始めております。

国内および県内経済の先行きは依然として不透明な状況が続いておりますが、当行は「地域の支え」として、その本分である金融仲介機能の発揮に努めるとともに、お客さまと地域の持続可能性を高めていく様々な取組みに注力しております。

当行では現在、お客さま接点の一層の強化に努めるとともに、提案力・課題解決力を有する人材の育成、多様化するニーズに応えるサービスラインナップの拡充など、これまで以上にスピード感ある取組みを進めております。

また、DX(デジタルトランスフォーメーション)を更なる成長の糧とすべく、日進月歩で成長と進化を遂げているテクノロジーを積極的に採り入れ、生産性・効率性向上は勿論のこと、これまでになかった新業務・サービスの創出に励んでおります。

同様にサステナビリティにつきましても、推進態勢の強化に努めるとともに、企業の皆さまの取組みを後押しするファイナンスやコンサルティングの提供に努めております。

2022年6月設立の新社「むさしの未来パートナーズ」は、10月より本格的に事業をスタートいたしました。個人向けの会員制生活支援事業と企業向け商流支援事業を中心に非金融のサービスを提供していくことで、皆さまの様々な課題を解決してまいります。

地域金融機関を巡りましては、人口や産業の構造転換が進むなか、今後のあり方を問う議論が日々高まっておりますが、私どもでは地域の持続的成長の成否は金融機関の取組みみ如何であると確信しております。

創業以来変わらぬ「地域共存」「顧客尊重」の経営理念のもと、自主独立の経営を堅持し、お客さま、株主さま、地域社会など全てのステークホルダーの皆さまとともに持続的発展を目指し、役職員一同専心努力してまいります。

皆さま方からの変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

頭取 長堀和正



武蔵野銀行について

経営理念

「地域共存」 豊かな地域社会の実現に寄与し、地域とともに発展します。

「顧客尊重」 変化を先取りした果敢な経営を展開し、組織を挙げて最良のサービスを提供します。

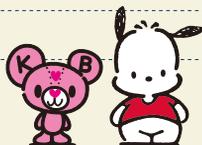
ブランドメッセージ

More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

プロフィール

名称	株式会社 武蔵野銀行 The Musashino Bank,Ltd.
本店所在地	さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8
ホームページ	https://www.musashinobank.co.jp
設立	1952年3月6日
ネットワーク	営業店舗数 99か店 (県内93 [うち出張所2]、県外6) 住宅ローンセンター 9か所
従業員数	2,039名
イメージキャラクター	ドリームテイルクローベア ポチャッコ ©2023 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L635680



武蔵野銀行のあゆみ

1952年 4月
資本金1億円、本店を大宮市(現さいたま市)に置き8か店で創業

1969年 10月
東証第二部に上場
(1970年8月東証第一部に上場)
(2022年4月東証プライム市場に移行)

2013年 1月
吉川支店開設により県内全市(40市)に支店網確立

2013年 4月
長期ビジョン
「MVP～埼玉に新たな価値を創造する地域No.1銀行～」策定

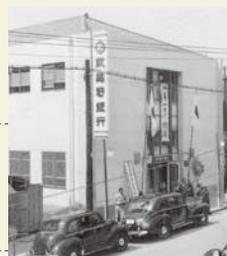
2016年 3月
千葉・武蔵野アライアンス締結

2019年 3月
TSUBASAアライアンスに参加

2019年10月
池袋支店開設により全99か店となる

2021年 12月
新本店ビルブランドオープン

2022年 4月
創業70周年



創業当時の本店

武蔵野銀行グループ

株式会社武蔵野銀行

連結子会社

- ぶぎん総合リース株式会社
- ぶぎん保証株式会社
- むさしのカード株式会社
- ぶぎんシステムサービス株式会社
- 株式会社ぶぎん地域経済研究所
- 株式会社ぶぎんキャピタル
- むさしのハーモニー株式会社
- むさしの未来パートナーズ株式会社

(2022年9月末現在)



More For You
もっと、街・暮らし・笑顔のために

長期ビジョン「MVP」・中期経営計画「MVP 70」

長期ビジョン「MVP (Musashino Value-making Plan)」

埼玉に新たな価値を創造する『地域No.1銀行』 ～Value-making Bank～

実現に向けた10年工程



中期経営計画「MVP 70」(2019年4月～2023年3月)

目指す姿

お客さまと地域にずっと寄り添っていく銀行

人を大切に、人を成長させる銀行

長期ビジョン完遂に向けて邁進

収益構造転換を確固たるものに

埼玉の地銀にふさわしい成長軌道

課題解決を通じて、お客さまの圧倒的な満足と本業収益(資金収益・役務収益)をいただき、地域の発展のために再投資していくビジネスモデルを徹底的に追求していく

具体的戦略

成長戦略

創造戦略

デジタルトランスフォーメーション(DX)

サステナビリティ(ESG/SDGs)

人材戦略

アライアンス戦略

有価証券戦略

グループ戦略

経営管理態勢・コンプライアンス

中期経営計画「MVP 70」の主な取組み

成長戦略

■ お客さまセグメント毎の高い専門性の発揮

深いお客さま理解のもと、専門性の高いソリューションを提案する態勢を構築しています。

法人のお客さま



- 的確なソリューション提案に向けた、人材紹介などのサービスラインナップの拡充
- 円滑な事業承継やM&Aなど、お客さまの成長ステージに合わせたきめ細かな支援

個人のお客さま



- 信託機能を活かした、多様化する相続・資産承継ニーズへの対応
- 長期安定的な資産形成に向けたポートフォリオ提案高度化とお客さま本位の業務運営徹底

デジタルトランスフォーメーション(DX)



■ デジタルを活用したサービスの更なる高度化

お客さま満足の向上に繋がる取組みをスピード感を持って実施しています。

- データウェアハウス活用による、お客さま一人ひとりへのパーソナライズ提案
- 電子契約などお手続きのペーパーレス化

■ 店頭手続き等のデジタル化

お客さまとのコミュニケーションを重視したサービスの実現に努めています。

- スマートフォンアプリの機能拡充
- タブレット端末や電子記帳台による業務のデジタル化
- 受取証の電子化

■ お客さま接点の拡充

新たなお客さま接点の創出やワークスタイル改革に取り組んでいます。

- 行員への業務用スマートフォンとタブレットPCの配備
- ビジネスチャットアプリやオンライン面談の活用

創造戦略



地方自治体や大学、地元企業の皆さまと連携し、埼玉ならではの地方創生に取り組んでいます。

主な取組み

- 産学官金の連携プラットフォーム構築
- 観光による地域活性化プロジェクト
- 地域資源の発掘・創造と事業化
- 地域商社「むさしの未来パートナーズ株式会社」による非金融サービス提供

人材戦略



多様なニーズに的確にお応えすることのできる、プロフェッショナル人材の育成を進めています。

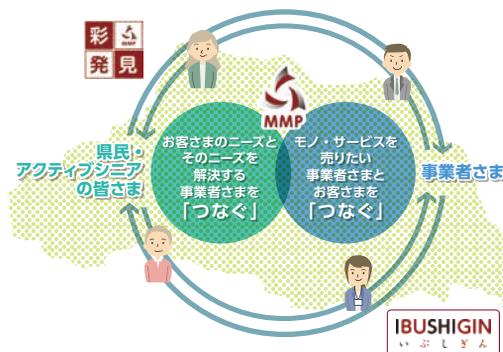
主な取組み

- 実践を重視した独自の人材育成制度
- ファイナンシャルプランナー等の計画的養成
- DXに向けたデジタル/ITリテラシー底上げ
- 事業承継やM&A等の課題解決に向けたスキル向上

当行100%出資の地域商社「むさしの未来パートナーズ株式会社」が2022年10月より事業をスタートいたしました。同社では、これまでの銀行業務の枠組みを越えた非金融の取組みを通じ、地域の皆さまの課題や困りごとを解決し、経済および社会の発展に貢献していきます。

「地域エコシステム」の構築に向けて

むさしの未来パートナーズでは、「個人のお客さまのニーズとそのニーズを解決する事業者さまを繋ぐ事業」、そして、「モノやサービスを展開する事業者さまとお客さまを繋ぐ事業」、これら2つの事業を両輪としたサイクルを循環させていきます。これにより、地域が抱える課題を地域の中で解決する仕組みである「地域エコシステム」の構築を目指していきます。



個人(アクティブシニア)支援事業 有料会員制サービス「彩・発見」



埼玉県では高齢化が急速に進展するとともに、核家族化等が社会課題となっていくことが指摘されています。有料会員制サービス「彩・発見」では、アクティブシニアの方々をはじめとした高齢者の皆さまの日常生活における困りごとの解決や、暮らしを彩る体験の提供を行っていきます。

「つかうサービス」

- ・家事代行・庭の手入れ・家のリフォームなどの日常生活の困りごと解決
- ・食事や趣味など暮らしを彩る体験の提供



「もらえるサービス」

むさしの未来パートナーズがセレクトした県内の逸品を年2回定期的にお届けします。

事業者向け商流支援事業 購入型クラウドファンディング 「IBUSHIGIN(いぶしぎん)」

IBUSHIGIN
いぶしぎん

事業者の皆さまの優れたモノやサービスを多くの方々に知っていただくため、企画や開発、ブランディングなど商流全体の伴走支援を行います。

購入型クラウドファンディング「IBUSHIGIN」では、モノやサービスの魅力と事業者の皆さまの思いに光を当て、幅広い共感を得ていく仕組みを提供し、新たなファン作りやテストマーケティングなどをサポートします。



サステナビリティへの取り組み

当行では、サステナビリティの視点を、銀行経営に積極的に採り入れ、ステークホルダーの皆さまと手を携えながら持続可能な地域社会の実現に向けた取り組みに注力しています。

武蔵野銀行SDGs宣言

武蔵野銀行はSDGsの目標達成に貢献するため、グループ全役職員が取組むことを宣言します。

「持続的成長の源泉としての企業統治」

企業統治を持続的成長の源泉と位置づけ、創業以来不変の経営理念に基づく確固たる銀行経営を志向します。



「持続可能な地域経済」

地元産業のイノベーションや地産地消の促進、快適かつ強靱なまちづくりに貢献し、持続可能な経済成長を実現します。



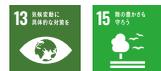
「いつまでも自分らしく暮らせる地域社会」

全ての人々が自分らしく、健康で幸福に生活できる社会をつくるため、積極的な取組みを行います。



「気候変動への対応と生物多様性の維持向上」

地球規模の気候変動に対応するとともに、地域の豊かな生物多様性の維持向上に取組みます。



サステナビリティ基本方針等

気候変動や人権といったグローバルな課題や国内外の金融経済における脱炭素の動きに対応するとともに、より実効性あるサステナビリティ経営の実践を目指していきます。

サステナビリティ基本方針

環境方針

投融资方針

人権方針

サステナビリティ推進態勢

サステナビリティ推進態勢を強化し、諸課題の解決に向け取組んでいます。

サステナビリティ
推進委員会

サステナビリティに関する課題と解決に向けた取組みについて経営陣が適切に関与しています

サステナビリティ
推進室

組織横断的取組みの統括・推進を行っています

気候変動への対応

TCFD提言への取組み



当行は2021年9月にTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言に賛同しました。気候変動への取組みを重要な経営課題と位置づけ、ガバナンスおよびリスク管理体制の構築や気候変動がもたらす機会とリスクの把握に努めています。また、2022年7月にはサステナブルファイナンスおよび温室効果ガス排出量削減に関する目標を定め開示しました。

サステナブルファイナンス

地域の脱炭素化に資する融資について、2021年度から2030年度までの10年間で累計1兆円の実行を目指しています。



温室効果ガス排出量削減

当行グループ全体のCO₂排出量について、2030年度には2013年度比70%削減することを目指しています。



アライアンス戦略

千葉・武蔵野アライアンス



千葉銀行と「千葉・武蔵野アライアンス」を締結し、多岐に亘る分野で連携・協働を進めています。

■ 個人のお客さまへのサポート

資産運用 (アセットマネジメント) 業務	相続関連業務
金融商品仲介業務	共同 ATM の設置

■ 法人のお客さまへのサポート

ビジネスマッチング	シンジケートローンなどの事業金融	
国際業務	事業承継支援	事業再生支援

■ その他の取組み

共同拠点の設置	人材交流	共同セミナーの開催
---------	------	-----------

TOPICS お客さまの海外事業展開を支援

両行のシンガポール駐在員事務所や JETRO、JICA などの公的機関と連携し、お取引先企業の海外進出や現地でのビジネス展開をサポートしています。



2022年7月、シンガポールへの販路拡大に関心のある事業者を対象に、同国の現況や食品市場の動向などを紹介するセミナーを開催しました。



2022年8月、JICAの民間連携事業活用に関心のある事業者を対象に、埼玉および千葉両県における活用事例などを紹介するセミナーを開催しました。

TSUBASAアライアンス

各地域を代表する10行が参加する地方銀行最大の連携「TSUBASAアライアンス」では、金融サービスの高度化やキャッシュレスなどの課題に、広域連携の強みを活かしながら取組んでいます。



キャッシュレス業務拡充	アプリ共同開発	広域での M & A マッチング
海外ネットワークの活用	SDGs への取組み	マネー・ローンダリング対策の高度化



TOPICS 「TSUBASAクロスメンター制度」創設 ～ダイバーシティ&インクルージョンの取組み～

2022年4月に制定した「TSUBASA ダイバーシティ&インクルージョン宣言」に基づき、同年8月には「TSUBASA クロスメンター制度」を創設しました。各行の役員がメンター（支援者・助言者）、女性管理職がメンティ（支援を受ける立場の人）となり、アライアンス参加行同士で横断的にマッチングをし、1対1での対話を通じて、キャリア面など多岐に亘る悩みにも対応し成長をサポートしていきます。

経営管理態勢の高度化に向けた取組み

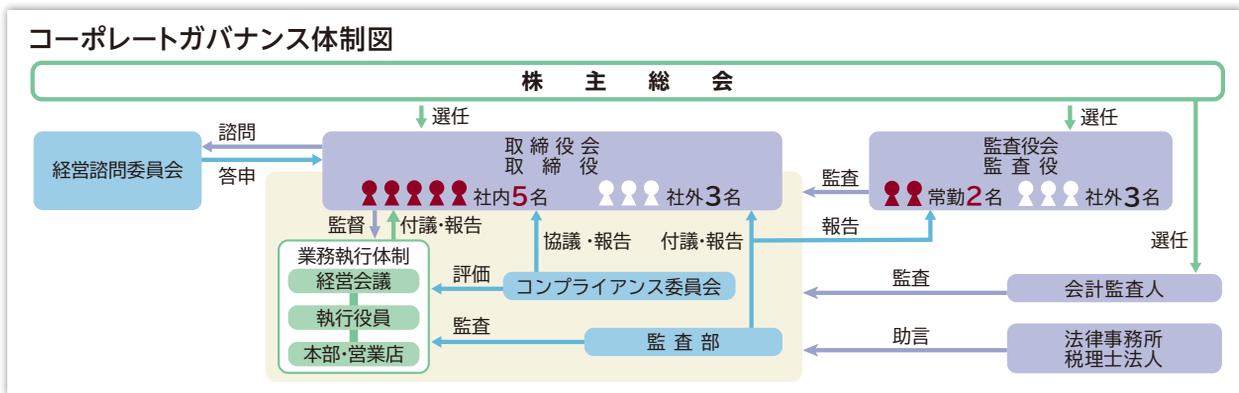
コーポレートガバナンスの充実を持続的成長と企業価値向上の源泉であると位置付け、取組みを強化しています。あわせて、銀行に求められている社会的責任と公共的使命を果たすため、コンプライアンス（法令遵守）体制の強化に継続的に取り組んでいます。

コーポレートガバナンスの充実

コーポレートガバナンスの充実を経営の重要課題と認識し、法令や規程を遵守するとともに、取締役会及び監査役会において取締役の職務執行について厳正な監視を行っています。

豊かな知見と経験を有した社外取締役3名と社外監査役3名を選任し、取締役の職務執行に係るモニタリング・監査に加え、取締役会への出席等を通じ、透明性を保ちながら独立・中立の立場で幅広い視野から積極的に経営に関する意見表明・助言等を行うことで経営監視機能の客観性・中立性を確保しています。

あわせて、執行役員制度のもと、取締役の員数をスリム化し迅速な経営判断を可能としています。



(2022年6月)

コーポレートガバナンスに関する基本方針を開示しています

本基本方針に基づき、最良のコーポレートガバナンスの実現に向け、株主の皆さまとの建設的な対話や公平かつ適時・適切な情報開示などに努めております。

コンプライアンス（法令遵守）体制の強化

当行では、社会的責任と公共的使命を果たすため、コンプライアンスの徹底を経営の重要課題の一つと位置付け、経営陣自ら積極的に関与し、体制の整備や指導方法の確立など、体制強化に取り組んでいます。

今後につきましても、確固たる倫理観と誠実さを基本とした企業行動と、自己責任原則に則った経営姿勢を一段と強め、日常業務や自らの行動における法令や社会規範等の遵守を実践してまいります。

More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR TOWN

持続可能な地域社会の実現に向けて ～法人のお客さまのサステナビリティ経営をサポート～

コンサルティングによる支援強化

むさしのSDGs診断サポート

SDGsとその取組状況を見える化する「SDGs診断」を実施します。

むさしの脱炭素コンサルティング

CO₂排出量等の算定を行うとともにCO₂削減計画策定を支援します。

むさしのSDGsコンサルティング

SDGsの取組状況に応じたオーダーメイドのコンサルティングを実施します。

融資商品の拡充

むさしのSDGs私募債

私募債発行手数料の一部をSDGs達成に資する団体等に寄付します。

むさしのSDGsフレンズローン

チェックシートを活用し、SDGsと経営課題の関係を見える化するとともに、他社との交流や情報発信等をサポートします。

むさしのサステナビリティ・リンク・ローン

サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SDGsなどに関連する事業挑戦目標)の達成状況に応じ、金利条件が変動します。

むさしのサステナビリティ・フレームワーク・ローン

手続き面などで、サステナビリティ・リンク・ローンをご利用しやすとした商品設計です。

事業者の皆さまの最良のパートナーとして ～多様な経営課題の解決に取り組んでいます～

事業承継・M&A



後継者問題や事業の承継・多角化などのお悩みに専門機関と連携したサポートを行っています。

ビジネスマッチング



お取引先企業のニーズに、独自のネットワークを活かした最適なビジネスパートナーを紹介しています。

人材紹介



お取引先企業の事業拡大や新たな事業展開などに貢献する最適な人材を紹介しています。

コンサルティング



事業計画の策定や補助金の申請といった経営課題を解決するコンサルティングサービスを提供しています。

TOPICS

むさしのES診断サービス ～お取引先企業の人的資本への取組み支援～

2022年7月より取扱いを開始した本サービスでは、アンケート調査を通じ、職場や仕事に関する従業員の満足度(ES)を測定し、経営者の皆さまにお伝えするほか、人事に関する経営指標の分析なども行い、自社の現状認識の一助としていただくことで、企業価値の向上を支援します。



新たな産業創造に向けて

見沼たんぼ“小麦”6次産業創造プロジェクト

さいたま市の「見沼たんぼ」での小麦の生産復活と産業創造に向け、自治体や大学、企業の皆さまと連携した取組みを行っています。

2014年 「見沼たんぼ“小麦”6次産業創造研究会」発足
かつて見沼たんぼで作付していた小麦の生産復活に向けた研究会を立ち上げました。

2015年 「さいたま小麦トライアルファーム」オープン
さいたま市見沼区での小麦栽培を開始しました。

2016年 小麦製品の開発を開始
初収穫した小麦を用いて、市内の食品加工業者などと連携し、製品開発を開始しました。

2020年 6次産業化の実現
収穫した小麦を使用したクラフトビールの製造・市販を実現しました。



2022年 さらに取組みの拡大へ

創業70周年記念ビール製造・販売

当行創業70周年の感謝を込め、特別醸造したクラフトビールの製造・販売を9月に行いました。なお売上金は全額「氷川ほたるの会」に寄付し、環境保全に役立てられます。



県産小麦の魅力発信「さいたま小麦マルシェ」

収穫した小麦を使用した製品の販売を行ったほか、小麦に関わる食文化を発信するトークイベントを行いました。



産学連携による商品力向上

日本薬科大学（伊奈町）と連携し、新製品の開発を支援しました。



安心・安全な街づくりに向けて

自治体や事業者の皆さまと連携しながら、地域の防災・減災に貢献する積極的な取組みを行っています。

本店ビルを帰宅困難者の一時滞在施設として提供

さいたま市との協定に基づき、大規模災害発生時に帰宅困難者200名を受け入れます。



受け入れスペースとして活用する本店ビル大会議室およびホワイエ

- 食料・飲料・毛布など物資の提供
- トイレ・水道など設備提供

災害に備えた取組み支援

埼玉県内自治体および株式会社デベロップと連携し、災害時におけるレスキューホテル提供や、市民の皆さまへの情報発信を支援しています。

連携自治体

川口市、草加市、戸田市、吉見町（50音順）



災害時に仮宿泊施設として活用されるレスキューホテル（移動式コンテナ客室）

More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR LIFE

武蔵野銀行アプリ

～いつでも、どこでも、便利に～



生体認証で
かんたん
ログイン



残高・入出金
明細確認



便利な
メモ機能
&通帳表示



振込・振替が
かんたん



定期預金の
預入・解約



お得な
クーポン
&お知らせ



ダウンロードは
こちらから



TOPICS

むさしの電子契約サービス

2022年度内に全拠点に展開

事業者さま向けのご融資や住宅ローンについて、書面の契約書へのご記入・ご捺印に代わり、WEB上で電子化された契約書に電子署名を行うことで、融資契約が完了となるサービスです。

24時間365日お手続き可能

収入印紙の添付不要

キャッシュレス決済の充実

キャッシュレス加盟店サービス

事業者の皆さまにマルチ決済端末を提供し、キャッシュレス化をサポートしています。

取扱ブランド

決済方法	クレジットカード	QR決済
取扱いブランド	VISA, Mastercard, VISA)))	Alipay, 微信支付 WeChat Pay
決済方法	クレジットカード	電子マネー
取次ブランド (むさしのカード扱い)	JCB, AMERICAN EXPRESS, Direct Club INTERNATIONAL, DISCOVER, UnionPay	R Edy, nanaco, WAON, QUICPay, QUICPay+, PASMO, Suica, Kitaca, tJc, manaca, OCA, SUGOCA, nimoca, はやがら



電子決済サービスとの連携

スマホから簡単に電子マネーへのチャージや支払いなどができます。



次の世代へ想いを繋ぐ ～お客さまの大切な資産承継をお手伝い～

むさしの暦年贈与型信託「贈る想い」



大切な資産承継をお手伝い
生前贈与を活用して大切なご資産をご家族へ贈ることができます。

むさしの金銭信託「つなぐ想い」



万が一のときもご安心いただけます
認知症や要介護認定など、サポートが必要になった場合の金銭の受取りもスムーズに行うことができます。

むさしの家族信託



相続発生までのご資産を守ります
年齢を重ね認知症などで判断が難しくなった場合の財産管理や資産承継を総合的に支援します。

遺言信託・遺産整理業務



円滑な相続・資産継承に向けて
お忙しいお客さまに代わり、煩雑な各種手続きを代行します。

むさしの後見制度支援信託



お客さまの財産管理をサポート
後見制度を利用されているお客さまの預貯金口座を安全・確実に管理します。



人生100年時代の資産づくりをサポート

お客さまの生涯に亘るパートナーとして、安定的な資産形成をサポートしています。

資産形成をサポートするラインナップ

投資信託

NISA 積立サービス

ファンドラップ

iDeCo

(個人型確定拠出年金)

生命保険

外貨預金

むさしのマネープラン

ご自身の資産形成に対する考え方や生活スタイルに合った運用方法が見つかるWEBサービスです。



アクセスはこちら



More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR SMILE

地域創生スペース「M's SQUARE」

本店ビル2階の「M's SQUARE」では、自治体や企業、NPO等と連携し、地域の魅力や取組むべき課題の発信を行っています。皆さまとの交流・共創の場となることを目指し、今後も多様なテーマのセミナーやシンポジウム、展示会等を開催していきます。



食品ロス削減を啓発するトークイベント



埼玉のポップカルチャーの魅力を伝える展示



健康増進に向けた体操教室

「M's SQUARE」には、コワーキングスペースやカフェも併設しています。リモートワークや仕事の打ち合わせにご利用ください。



コワーキングスペース



カフェ

地域のスポーツ振興に向けて ～地元スポーツチームを応援しています～



大宮アルディージャ

トップパートナーとして、プレゼンツマッチを開催しているほか、大宮アルディージャデザインの通帳とキャッシュカードを取扱っています。



越谷アルファーズ

バスケットボールB.LEAGUEの「越谷アルファーズ」を応援しています。

大宮アルディージャと埼玉西武ライオンズの応援ブースを本店「M's SQUARE」に設置しています。



埼玉西武ライオンズ

スペシャルゲームを開催しているほか、埼玉西武ライオンズデザインのキャッシュカードを取扱っています。



T.T 彩たま

プロ卓球チーム「T.T彩たま」を応援しています。

豊かな生物多様性を次世代へ受け継ぐために

公益信託「武蔵野銀行みどりの基金」

30年に亘り自然環境保全・創出活動を行う皆さまに対し、活動資金を助成しています。これまでの助成実績は、累計7,651万円、のべ331団体となりました。



環境に配慮した店舗拠点づくり

生物多様性に配慮した植栽を行うなど、環境に配慮した店舗・拠点づくりに継続的に取り組んでいます。

本店ビルの植栽の庭
「武蔵野の森」



従業員への環境教育

環境教育講座「ぶぎん環境カレッジ」を開講し、従業員一人ひとりが主体的に生物多様性の維持向上に貢献していくという気運を高めています。また、新入行員研修では、荒川河川敷で外来植物駆除活動を実施しています。



ぶぎん環境カレッジ



外来植物駆除活動

次世代を担う子どもたちへ

金融教育「むさしの未来アカデミー」

小学生から高校生までの各年代に向けて、さまざまな金融教室や職場体験学習を開催しています。



小学生向けお仕事体験



高校での出張教室

文化・芸術

子どもたちにプロの演奏する素晴らしい音楽に触れる機会を提供するため、ヴァイオリニストの吉田恭子さんにご協力いただき、2009年より県内小学校の音楽室や体育館でコンサートを開催しています。



TOPICS

日本スリーデーマーチを応援！

2022年11月に開催された第45回「日本スリーデーマーチ」にて、ウォーカーの皆さんを応援しました。



業績ハイライト

- 貸出金の状況
- 預金等・預り資産の状況
- 損益の状況
- 格付
- 不良債権比率
- 自己資本比率
- 中間財務諸表(要約)

貸出金の状況

貸出金残高 **3兆8,839億円**



貸出金残高は、コロナ禍の影響を踏まえ、県内企業及び個人のお客さまの資金繰り支援に積極的かつ迅速にお応えした結果、前年同期末比757億円(年率1.9%)増加し、3兆8,839億円となりました。

預金等・預り資産の状況

預金等残高
預り資産残高 **4兆8,661億円**
9,776億円

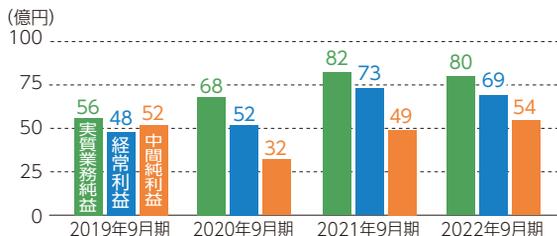


預金等残高は、地域に密着した営業基盤の拡充や総合取引の推進等に努めました結果、前年同期末比1,527億円(年率3.2%)増加し、4兆8,661億円となりました。預り資産残高は、前年同期末比5.6%増加し、預金等との合算では前年同期末比3.6%の増加となりました。

預金等……預金及び譲渡性預金。
預り資産…投資信託、生命保険、国債等の合計。投資信託は時価ベース残高。生命保険は販売累計額。

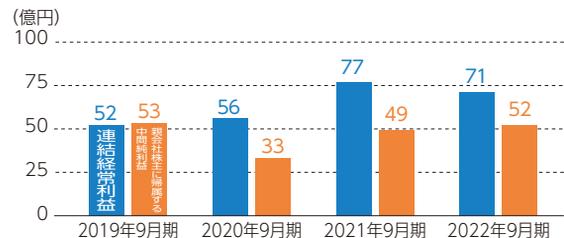
損益の状況

(単体) **実質業務純益 80億円**
経常利益 69億円
中間純利益 54億円



実質業務純益は80億円、経常利益は69億円、中間純利益は54億円となりました。

(連結) **経常利益 71億円**
親会社株主に帰属する中間純利益 52億円



経常利益は71億円、親会社株主に帰属する中間純利益は52億円となりました。

格付 (公表日:2022年2月21日)

株式会社日本格付研究所 「債務履行の確実性が高い」という投資適格の評価。

A

不良債権比率

1.8%

自己資本比率

単体 **8.22%** 連結 **8.58%**

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しております。

中間貸借対照表

(単位:百万円)

(資産の部)	
現金預け金	526,172
買入金銭債権	731
商品有価証券	5
金銭の信託	1,488
有価証券	783,202
貸出金	3,883,974
外国為替	4,486
その他資産	28,534
有形固定資産	54,232
無形固定資産	4,812
前払年金費用	9,126
繰延税金資産	2,448
支払承諾見返	5,421
貸倒引当金	△ 16,588
資産の部合計	5,288,048

(単位:百万円)

(負債の部)	
預金	4,831,942
譲渡性預金	34,175
コールマネー	71,970
債券貸借取引受入担保金	14,001
借入金	64,600
外国為替	454
信託勘定借	6,788
その他負債	12,654
賞与引当金	1,097
役員賞与引当金	7
退職給付引当金	2,860
睡眠預金払戻損失引当金	196
偶発損失引当金	219
株式報酬引当金	77
再評価に係る繰延税金負債	4,227
支払承諾	5,421
負債の部合計	5,050,695
(純資産の部)	
資本金	45,743
資本剰余金	38,353
資本準備金	38,351
その他資本剰余金	2
利益剰余金	141,139
利益準備金	10,087
その他利益剰余金	131,051
自己株式	△ 949
株主資本合計	224,287
その他有価証券評価差額金	2,209
繰延ヘッジ損益	2,530
土地再評価差額金	8,286
評価・換算差額等合計	13,026
新株予約権	38
純資産の部合計	237,352
負債及び純資産の部合計	5,288,048

中間損益計算書

(単位:百万円)

経常収益	33,381
資金運用収益	21,635
(うち貸出金利息)	(17,015)
(うち有価証券利息配当金)	(4,194)
信託報酬	33
役員取引等収益	7,034
その他業務収益	3,940
その他経常収益	736
経常費用	26,407
資金調達費用	1,076
(うち預金利息)	(182)
役員取引等費用	2,040
その他業務費用	4,169
営業経費	17,339
その他経常費用	1,782
経常利益	6,973
特別損失	58
税引前中間純利益	6,914
法人税、住民税及び事業税	1,575
法人税等調整額	△ 72
法人税等合計	1,503
中間純利益	5,410

※本誌に掲載の数値は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しております。

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

(資産の部)	
現金預け金	526,431
買入金銭債権	731
商品有価証券	5
金銭の信託	1,488
有価証券	783,399
貸出金	3,871,751
外国為替	4,486
リース債権及びリース投資資産	18,397
その他資産	41,731
有形固定資産	55,554
無形固定資産	4,908
退職給付に係る資産	8,799
繰延税金資産	3,494
支払承諾見返	5,421
貸倒引当金	△ 20,060
資産の部合計	5,306,540

(単位:百万円)

(負債の部)	
預金	4,826,739
譲渡性預金	24,175
コールマネー及び売渡手形	71,970
債券貸借取引受入担保金	14,001
借入金	75,434
外国為替	454
信託勘定借	6,788
その他負債	23,560
賞与引当金	1,141
役員賞与引当金	14
退職給付に係る負債	2,883
役員退職慰労引当金	29
利息返還損失引当金	29
睡眠預金払戻損失引当金	196
ポイント引当金	106
偶発損失引当金	219
株式報酬引当金	77
繰延税金負債	270
再評価に係る繰延税金負債	4,227
支払承諾	5,421
負債の部合計	5,057,742
(純資産の部)	
資本金	45,743
資本剰余金	38,353
利益剰余金	152,201
自己株式	△ 949
株主資本合計	235,349
その他有価証券評価差額金	2,763
繰延ヘッジ損益	2,530
土地再評価差額金	8,286
退職給付に係る調整累計額	△ 200
その他の包括利益累計額合計	13,379
新株予約権	38
非支配株主持分	31
純資産の部合計	248,798
負債及び純資産の部合計	5,306,540

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

経常収益	39,296
資金運用収益	20,760
(うち貸出金利)	(17,018)
(うち有価証券利息配当金)	(3,313)
信託報酬	33
役員取引等収益	7,414
その他業務収益	4,488
その他経常収益	6,598
経常費用	32,112
資金調達費用	1,096
(うち預金利息)	(182)
役員取引等費用	1,861
その他業務費用	4,170
営業経費	18,077
その他経常費用	6,906
経常利益	7,184
特別損失	58
税金等調整前中間純利益	7,125
法人税、住民税及び事業税	1,878
法人税等調整額	△ 27
法人税等合計	1,850
中間純利益	5,274
非支配株主に帰属する中間純利益	1
親会社株主に帰属する中間純利益	5,272

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

中間純利益	5,274
その他の包括利益	△ 5,296
その他有価証券評価差額金	△ 7,712
繰延ヘッジ損益	2,406
退職給付に係る調整額	9
中間包括利益	△ 22
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	△ 23
非支配株主に係る中間包括利益	1

株式のご案内

【事業年度】	毎年4月1日から翌年3月31日まで
【定時株主総会】	毎年6月に開催
【基準日】	定時株主総会の議決権の基準日は毎年3月31日
【公告の方法】	電子公告といたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

【株主名簿管理人及び特別口座管理機関】	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 【連絡先】三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1番1号 0120-232-711(通話料無料) 【郵送先】〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 【ご注意】株主さまの住所変更や買取請求等のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっておりますので、ご注意ください。
---------------------	---

株式の所有者別状況 (2022年9月末現在)

区 分	株式の状況 (1単元の株式数100株)							単元未満株式の状況(株)	
	政府及び地方公共団体	金融機関	金融商品取引業者	その他の法人	外国法人等		個人その他		計
					個人以外	個人			
株主数(人)	—	44	30	849	148	9	7,947	9,027	—
所有株式数(単元)	—	141,231	4,275	83,192	42,737	74	65,036	336,545	150,956
所有株式数の割合(%)	—	41.97	1.27	24.72	12.70	0.02	19.32	100.00	—

(注) 1. 自己株式269,700株は「個人その他」に2,697単元含まれております。
2. 「その他の法人」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が14単元含まれております。
3. 「金融機関」及び「単元未満株式の状況」の欄には、役員報酬BIP信託に係る信託口が保有する当行株式が、それぞれ782単元及び36株含まれております。

大株主の状況 (2022年9月末現在)

(千株・%)

株主名	当行への出資状況	
	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,672	10.94
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,503	7.46
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,217	3.63
株式会社千葉銀行	925	2.75
明治安田生命保険相互会社	735	2.19
株式会社三菱UFJ銀行	727	2.16
武蔵野銀行従業員持株会	716	2.13
住友生命保険相互会社	702	2.09
株式会社シティインデックススレイブンス	633	1.88
前田硝子株式会社	601	1.79

注1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式(269千株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。なお、自己株式には、役員報酬BIP信託に係る信託口が保有する当行株式(78千株)は含まれておりません。

中間・期末配当金のお知らせ

2023年3月期につきましては、中期経営計画「[MVP 70]」の最終年度における業績見通し等を総合的に勘案した結果、1株当たり中間配当金を40円から5円増額し45円とさせていただきます。併せて、1株当たり期末配当金を同じく5円増額し、45円とするごいたしました。これにより2023年3月期の年間配当金は1株当たり90円となります。



株式の状況等 (2022年9月末現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	33,805,456株
うち自己株式	269,700株
株主数	13,555名
単元株式数	100株

特別口座に記録された株主さまへ

- 特別口座のままでは売買を行うことはできません。証券会社等に株主さまご本人の口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座に振替請求を行ってください。
- 特別口座に記録された単元未満株式の買取請求、買増請求、住所変更等のお手続きは、上記の特別口座管理機関にお申し出ください。

ホームページにて株主・投資家向け情報をご案内しております。

<http://www.musashinobank.co.jp/irinfor/>



埼玉を支え続ける、新たな仕組みを——。

当行が100%出資する地域商社「むさしの未来パートナーズ」では、2つの事業で地域とお客さまを応援します。

会員制サービス 「彩・発見」

より豊かで楽しい生活を過ごせる仕組みを提供します。



「彩・発見」サイトはこちらから
<https://www.mmp-mbkg.co.jp/saihakken/>



購入型クラウドファンディングサイト 「IBUSHIGIN」

隠れた逸品や名産を販売し、
その魅力を発信いたします。



新規会員登録・支援(購入)はこちらから
<https://mmp-mbkg-ibushigin.en-jine.com/>



表紙について

秋から初春にかけての埼玉県内の印象的な風景を取り上げました。左から時計回りに岩畳紅葉船くんだり(長瀬町)、美の山公園の雲海(皆野町)、越辺川の白鳥(川島町)、宝登山口ウバイ園(長瀬町)です。(提供:埼玉県産業労働部観光課)

武蔵野銀行

ホームページ <https://www.musashinobank.co.jp>
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8
TEL.048-641-6111(代)

発行/2022年12月 編集/武蔵野銀行 総合企画部 広報・CSRグループ

本冊子に掲載しております商品・サービス等の詳細につきましてはお近くの営業店窓口へお問い合わせください。



この冊子は、適切に管理されたFSC® 認証林からの原材料および、再生資源やその他の管理された原材料から作られた、環境配慮型のFSC® 認証紙を使用しています。



環境負荷の少ない植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物は、E3PA(環境保護印刷推進協議会)のゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。